SignalNow®
Earthquake Early Warning

高度利用者向け緊急地震速報専用受信ソフトウェア

「SignalNow Express」

取扱説明書

第1．1版

ストラテジー株式会社

SignalNow Earthquake Early Warning

目次

1. 「SignalNow Express」とは 1
2. 利用条件 1
3. 動作環境 1
4. インストールの前に 2
5. インストール 2
5.1. ファイルの解凍 2
5.2. Windows の種別によるインストーラーの選択 3
5.3. インストールの実行 4
6. アプリケーションの起動とログイン 6
7. 設定 7
7.1. 所在地 7
7.2. ポップアップ表示条件 8
7.3. 動作詳細 9
7.4. 訓練 10
8. 地震ポップアップ画面について 11
9. 表示した地震 13
10. バージョン情報 13
11. ログ書出し 13
12. 自動ログイン 13
13. 終了 13
14. アンインストール 14
15. SignalNow Express のテクニカルサポートについて 15

SignalNow
Earthquake Early Warning

1. 「SignalNow Express」とは

気象庁から配信される高度利用者向け緊急地震速報により、設定地点の予測震度、到達秒数を計算し、警報音と表示でお知らせします。

SignalNow Express は、タスクトレイに常駐し、緊急地震速報を受信すると、演算が行われ、結果が設定条件に満たした場合に、「震源地のマグニチュード」、「設定地点までの到達秒数」、「設定地点の予測震度」をポップアップ表示します。

2. 利用条件

高度利用者向け緊急地震速報の受信には、弊社ホームページより使用上の注意にご同意の上、メールアドレスを登録して頂く必要があります。

その後、登録のメールアドレスへライセンスキーを送付させて頂きます。

ダウンロードしたソフトのインストール時には、お送りしたライセンスキーの入力が必要になります。

3. 動作環境

対象ＯＳ	Windows 7　（32 ビット版 および 64 ビット版） Windows Vista　（32 ビット版 および 64 ビット版） Windows XP　（32 ビット版のみ） （※日本語版のみ）
CPU／メモリ	ご使用のＯＳの動作条件の推奨スペック以上
ディスプレイ	1024 ドット×768 ドット 以上の表示サイズを推奨
必要環境	.NET Framework 3.5 SP1 Internet Explorer のバージョンが 7 または 8 以上 （※Internet Explorer のバージョンが 6 の環境では、地図表示が正常に出ません。） Windows Media Player 11 以上 Web ブラウジングが可能なインターネット環境があること。 プロキシサーバーを利用していないこと。

この取扱説明書での画面の例や名称などは Windows XP のもので記載しております。 Windows 7 および Windows Vista をお使いの方は、適宜、読み替えて頂きますようお願いします。

4. インストールの前に

ＮＴＰクライアントソフトウェア等を利用し、お使いのＰＣの時計を正確な状態に保ってください。秒単位での狂いが、そのまま地震到達までの予測秒数の狂いになってしまいます。

以前のバージョンの SignalNow Express をお使いだった方は、古い SignalNow Express を必ずアンインストールしてください。

アンインストールについては、「１４．アンインストール」の章を参照してください。

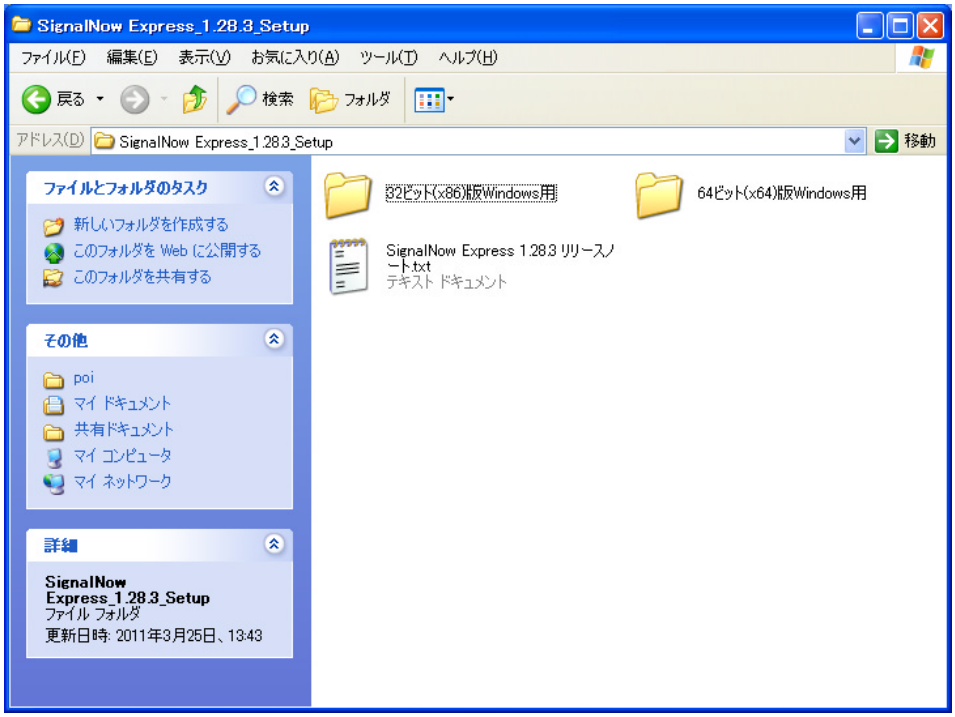
5. インストール

5.1. ファイルの解凍

ダウンロードした zip ファイルを任意の場所に解凍してください。

解凍すると、「SignalNow Express_x_xx_x_Setup」フォルダが作成されます。

※ フォルダ名の xx は、バージョン番号

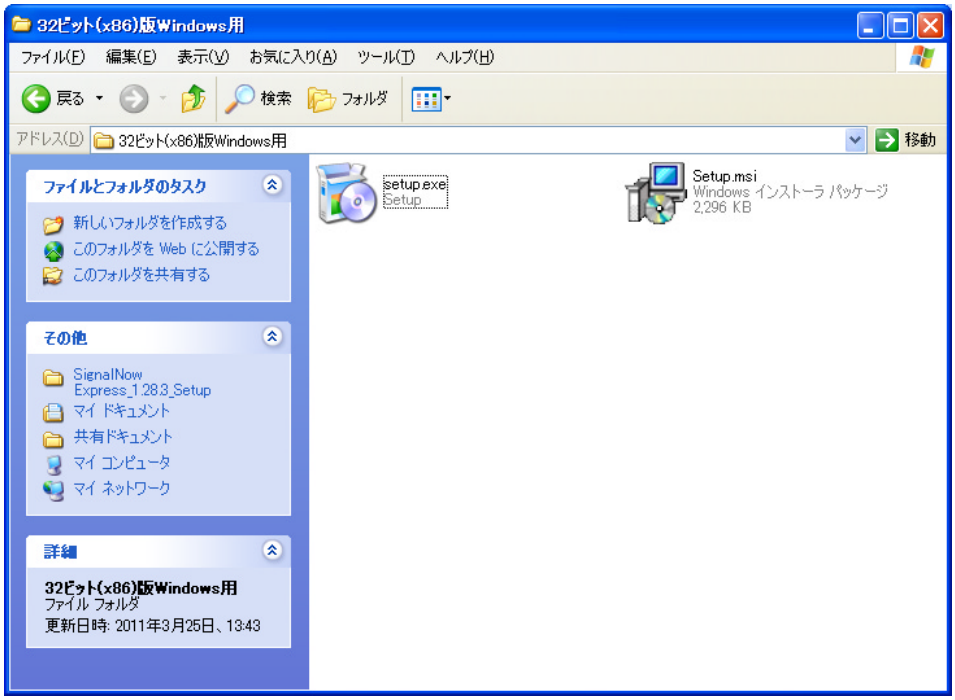


5.2. Windows の種別によるインストーラーの選択

32 ビット版 Windows をお使いの方は、「32 ビット(x86)版 Windows 用」フォルダを開いてください。

64 ビット版 Windows をお使いの方は、「64 ビット(x64)版 Windows 用」フォルダを開いてください。

それぞれ、専用のインストールファイルが入っています。

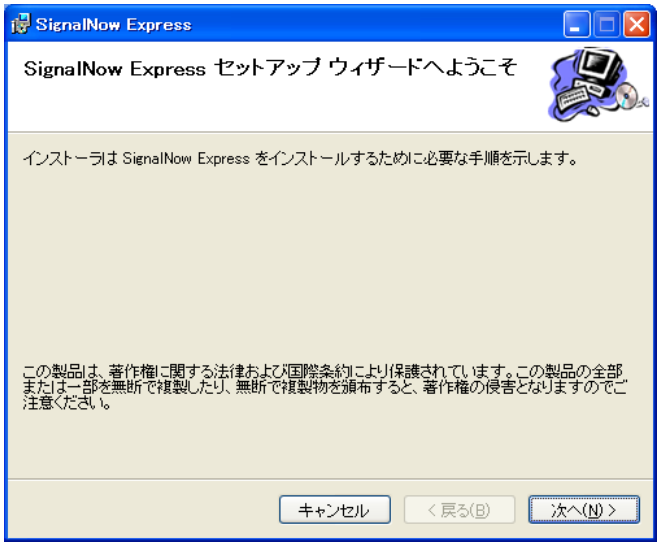


※ 64 ビット版 Windows に 32 ビット(x86)版をインストールすると、地震の予測演算が行えません。

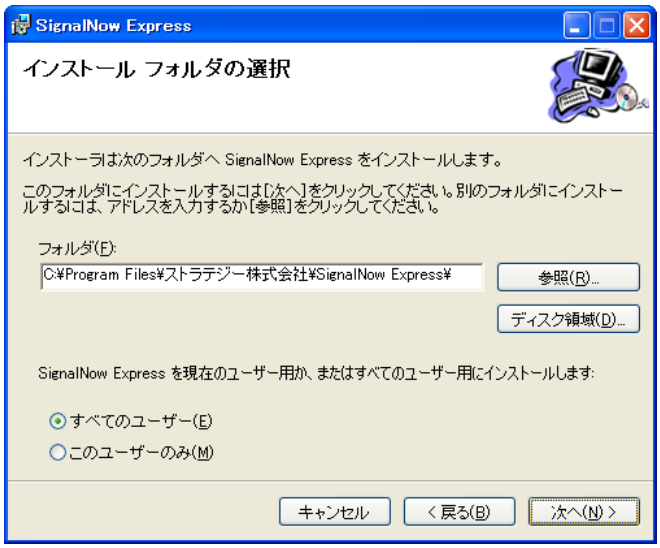
※ お使いの Windows がどちらなのかが判らない方は、一旦、64 ビット版用の setup.exe を実行してみて、もし「このインストール パッケージはこの種類のプロセッサでサポートされていません。」というエラーダイアログ表示されたら、そのダイアログを閉じてインストーラーを中断し、32 ビット版用の setup.exe を実行して下さい。

5.3. インストールの実行

「setup.exe」を実行してください。

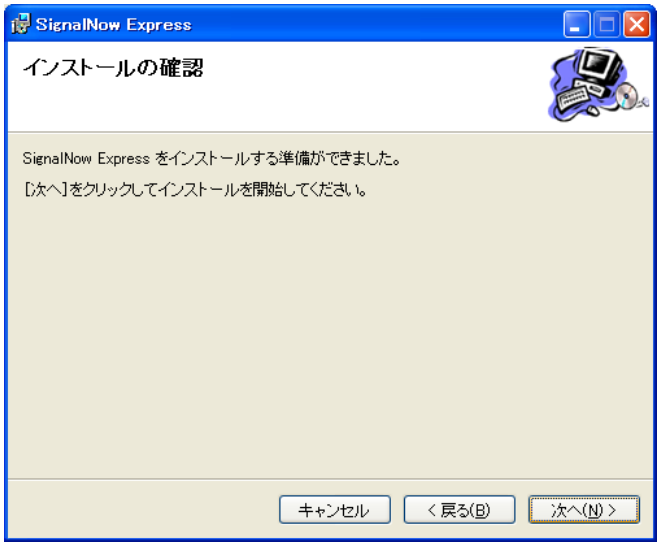


「次へ」を押します。

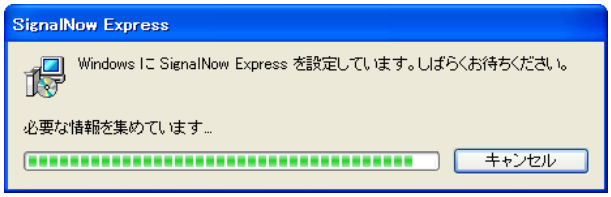


「次へ」を押します。

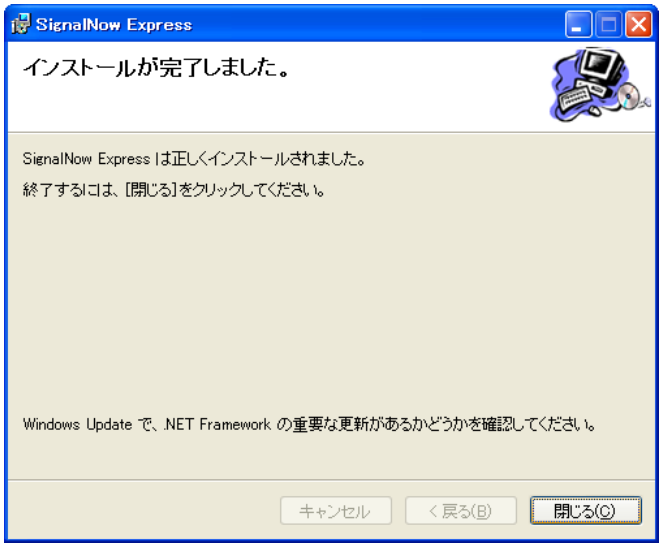
（インストール先のフォルダを変更したい場合は、任意のフォルダを指定してください。）



「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。



完了するまでそのまま待ちます。



「閉じる」を押して下さい。　これでインストールは完了です。

6. アプリケーションの起動とログイン

(1). インストール完了後に、デスクトップ上の SignalNow Express アイコンをダブルクリックして実行してください。

(2). ログイン画面が起動しますので、登録されたライセンスキーを入力して、認証ボタンを押してください。

※「SignalNow Express」のご利用には、ストラテジー株式会社への無料のライセンス登録が必要です。

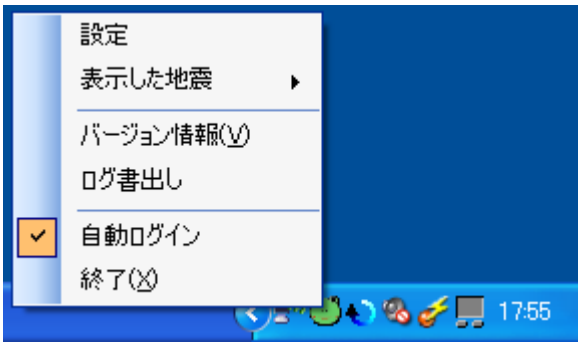
(3). アプリケーション起動後、「タスクトレイ」上の SignalNow Express アイコンが表示されれば、プログラムは動作中です。SignalNow Express アイコンが緑になっていれば、正常にサーバーと通信が出来ている状態です。赤になっている場合は、サーバーと正常に通信が出来ていません。通信回線等の確認をしてください。

正常通信状態

通信異常状態

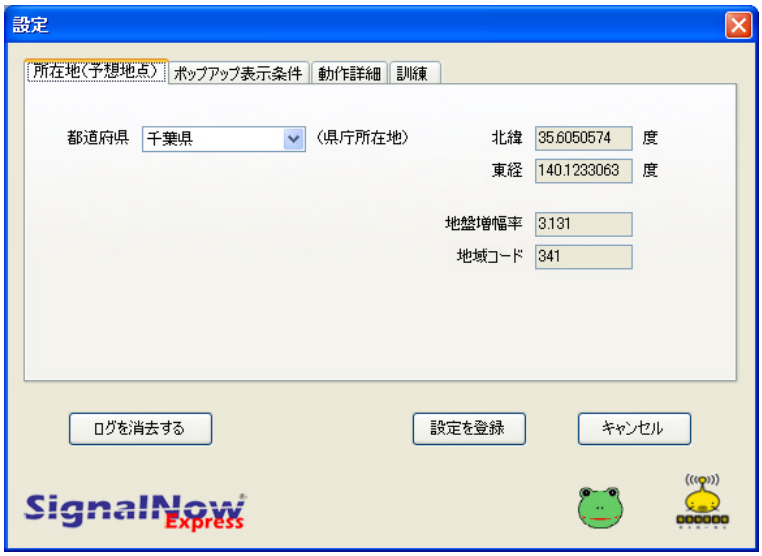
7. 設定

設定を行う場合は、タスクトレイ上の SignalNow Express アイコンを右クリックし、メニューを表示後、「設定」を左クリックしてください。



7.1. 所在地

「都道府県」のプルダウンから、ご使用される場所を選んでください。
設定が完了したら、「設定を登録」ボタンを押してください。



7.2. ポップアップ表示条件

(1). ポップアップ表示する地震の条件

表示する地震のマグニチュードと予測震度の条件を選択します。

※ この２つ閾値の設定は、ＯＲ条件としての判断となります。

例えば、「震源地マグニチュード」の設定を 1.0 にし、「所在地予想震度」の設定を 4 としていた場合、マグニチュードが 1.0 以上の地震であれば、たとえ予測計算による予想震度が 3 であってもポップアップ表示されます。

※ 予想震度による閾値のみでの動作を希望される場合は、「震源地マグニチュード」の設定を最高値に設定してご使用ください。

(2). 使用するデータの確からしさ

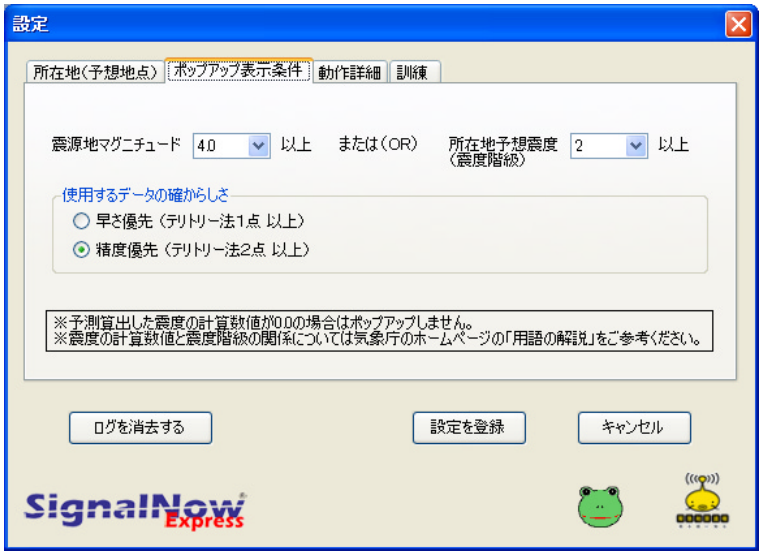
気象庁から送られてくるデータのうち、どの精度から使用するかを選択します。

「早さ優先」は、データ精度がテリトリー法１点以上のものから使用します。この場合、ポップアップ表示するタイミングは最も早くなりますが、まだ精度が不十分な時点のデータの為、誤報の可能性が高くなります。

「精度優先」は、データ精度がテリトリー法２点以上のものから使用します。この場合、誤報の可能性は低くなりますが、ポップアップ表示するタイミングは遅れる場合があります。

（※ 気象庁では複数観測点に基づいたデータの使用を奨励している為、後者の「制度優先」を選択しておくことを推奨致します。）

設定が完了したら、「設定を登録」ボタンを押してください。



7.3. 動作詳細

(1). 報知音量

スライダーを左右に動かして動作時の音量を調整が行えます。

「テスト再生」ボタンで音量の確認が行えます。

(2). 地震到達後の報知音の継続時間

地震が到達してから報知音を継続する時間を秒単位で設定します。

希望の秒数を０秒～２０秒の範囲で設定してください。

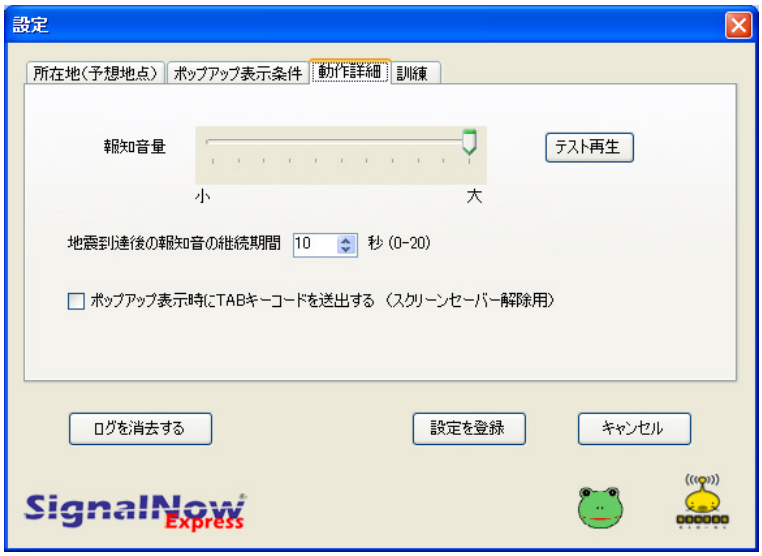
（※ 気象庁では、地震到達後も報知を 10 秒程度継続することを奨励しています。）

(3). ポップアップ表示時に TAB キーコードを送出する

「ポップアップ表示時に TAB キーコードを送出する」にチェックを入れるとスクリーンセーバ作動時にもポップアップ表示がされます。

チェックが入っていない場合、スクリーンセーバ動作時には、ポップアップ表示をしても、スクリーンセーバが解除されません。

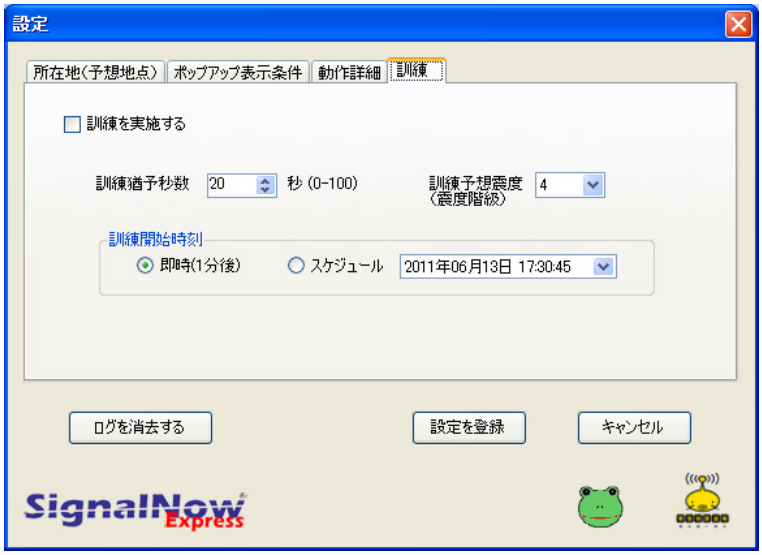
設定が完了したら、「設定を登録」ボタンを押してください。



7.4. 訓練

「訓練を実施する」にチェックを入れると訓練動作を実施します。
訓練猶予秒数と訓練予想震度を指定してください。
即時（1 分後）に行いたい場合は、「即時（1 分後）」のラジオボタンを選択してください。
それ以降に行いたい場合は、「スケジュール」のラジオボタンを選択し、訓練を行いたい日時を指定してください。

設定が完了したら、「設定を登録」ボタンを押してください。



8. 地震ポップアップ画面について

緊急地震速報を受信すると、「SignalNow Express」がポップアップし、以下のような緊急地震情報が表示されます。

地図上の緑のマークが震源地を示しています。

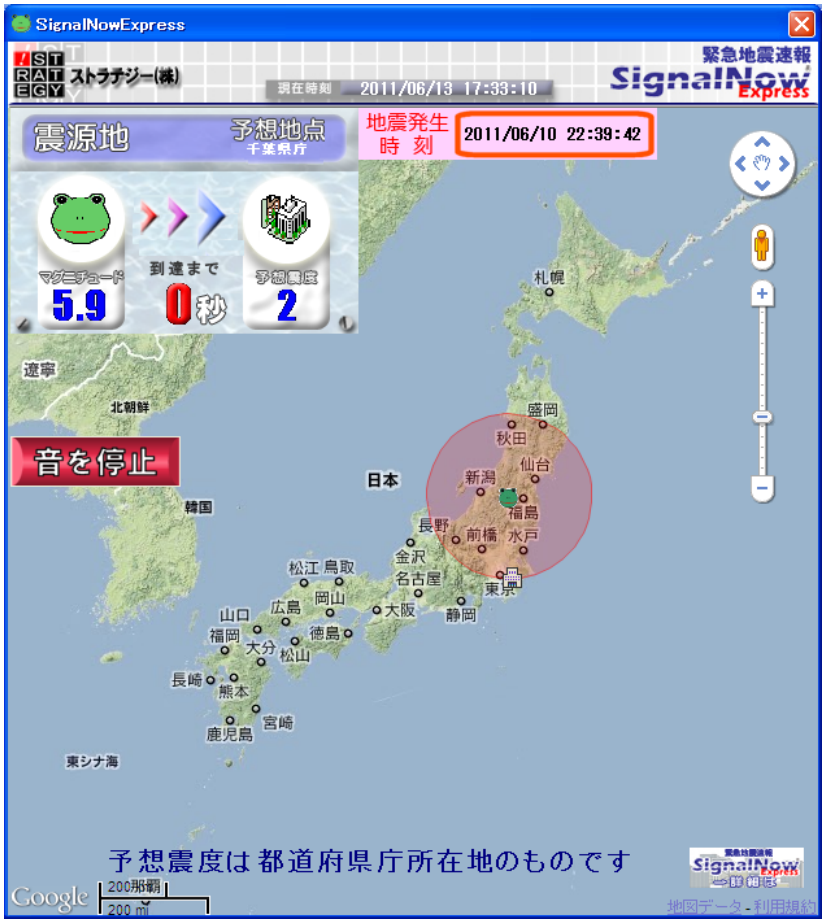
地図上の建物マークが設定した所在地になります。

画面左上の緑マーク下部の「マグニチュード」は、震源地のマグニチュードを表しています。

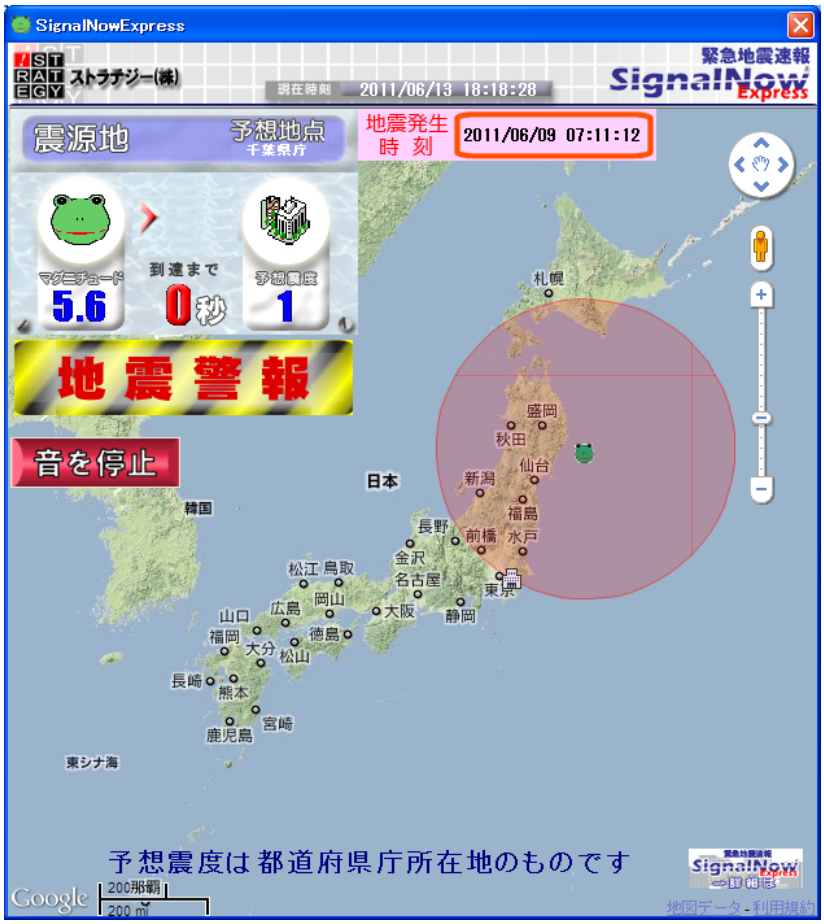
画面左上の建物マーク下部の「予想震度」は、設定した所在地での予測震度を表しています。

「到達まで」の秒数表示は、地震到達までの秒数をカウントダウンします。

地震到達まで秒数のカウントダウン中に、報知音を止めたい場合は、画面上の赤い「音を停止」ボタンを押します。



また、設定した所在地が気象庁から発表されている警報エリアに該当していた場合は、「地震警報」というアイコンが点滅表示されます。



9. 表示した地震

過去にポップアップ表示した地震情報を再表示させるには、タスクトレイ上の SignalNow Express アイコンを右クリックし、メニューを表示後、「表示した地震」にマウスカーソルを合わせ、横にリストアップされたリストの中から押してください。
過去にポップアップ表示した３回分の地震情報をポップアップ再表示します。

10. バージョン情報

バージョン情報の確認を行う場合は、タスクトレイ上の SignalNow Express アイコンを右クリックし、メニューを表示後、「バージョン情報」を押してください。
現在インストールされているプログラムのバージョン情報を表示します。

11. ログ書出し

SignalNow Express が記録しているログをテキストファイルに書き出します。

12. 自動ログイン

SignalNow Express を起動したときに、サーバーへのログインを自動で行わせるときに、ここをチェックが入った状態にします。
ログイン画面で正しいライセンスキーが入力されている状態であれば、ログイン画面が表示されてから約２秒後に自動的にサーバーへのログイン処理を開始します。

13. 終了

プログラムの終了を行う場合は、タスクトレイ上の SignalNow Express アイコンを右クリックし、メニューを表示後、「終了」を押してください。
プログラムの常駐を終了します。

14. アンインストール

SignalNow Express がタスクトレイに常駐している場合は、プログラムの終了を行ってからアンインストールしてください。

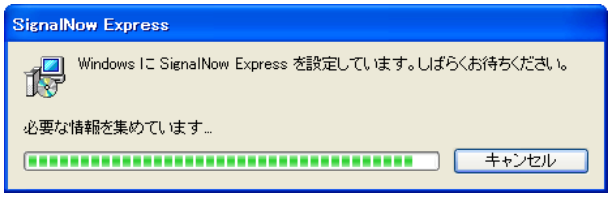
終了方法については、「１３．終了」の章を参照してください。

「コントロールパネル」から「プログラムの追加と削除」を開いてください。

「削除」を押してください。

「はい」を押してください。

SignalNow Express のアンインストールが開始されます。



15. SignalNow Express のテクニカルサポートについて

SignalNow Express のテクニカルサポートは、
ストラテジー株式会社の FAQ ページ(http://www.estrat.co.jp/faq.html)、
SignalNow Express 専用お問い合わせ窓口（http://www.estrat.co.jp/query.html）
をご利用ください。

ストラテジー株式会社
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-3-28
第二川島ビル 1 階
URL: http://www.estrat.co.jp/